

株式会社ニツカトー 2021年3月期(第3Q)決算説明資料

1. 中長期的な戦略について
2. 2021年3月期(第3Q)業績概要
3. 2021年3月期業績予想
4. 事業トピックス

1. 中長期的な戦略について
2. 2021年3月期(第3Q)業績概要
3. 2021年3月期業績予想
4. 事業トピックス

当社は得意とする特定分野の**セラミックス製品**
並びに**計測機器**と**加熱装置**のリーディングカン
パニーを目指しております。

- ✓ ジルコニアボール並びに構造部材及び圧電体・次世代電池向け熱処理道具材の生産能力の増強
- ✓ 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と各種部材の生産技術の向上による品質、生産効率の改善による合理化の推進
- ✓ マーケットニーズに対応したセラミックス新製品及びエンジニアリング新商品の開発と拡販
- ✓ 働き方改革の実現及び中長期的な労働力の確保並びに人材教育の推進
- ✓ 内部統制システムの構築に基づくガバナンス強化及びリスク管理の強化や内部監査の充実による管理体制の整備

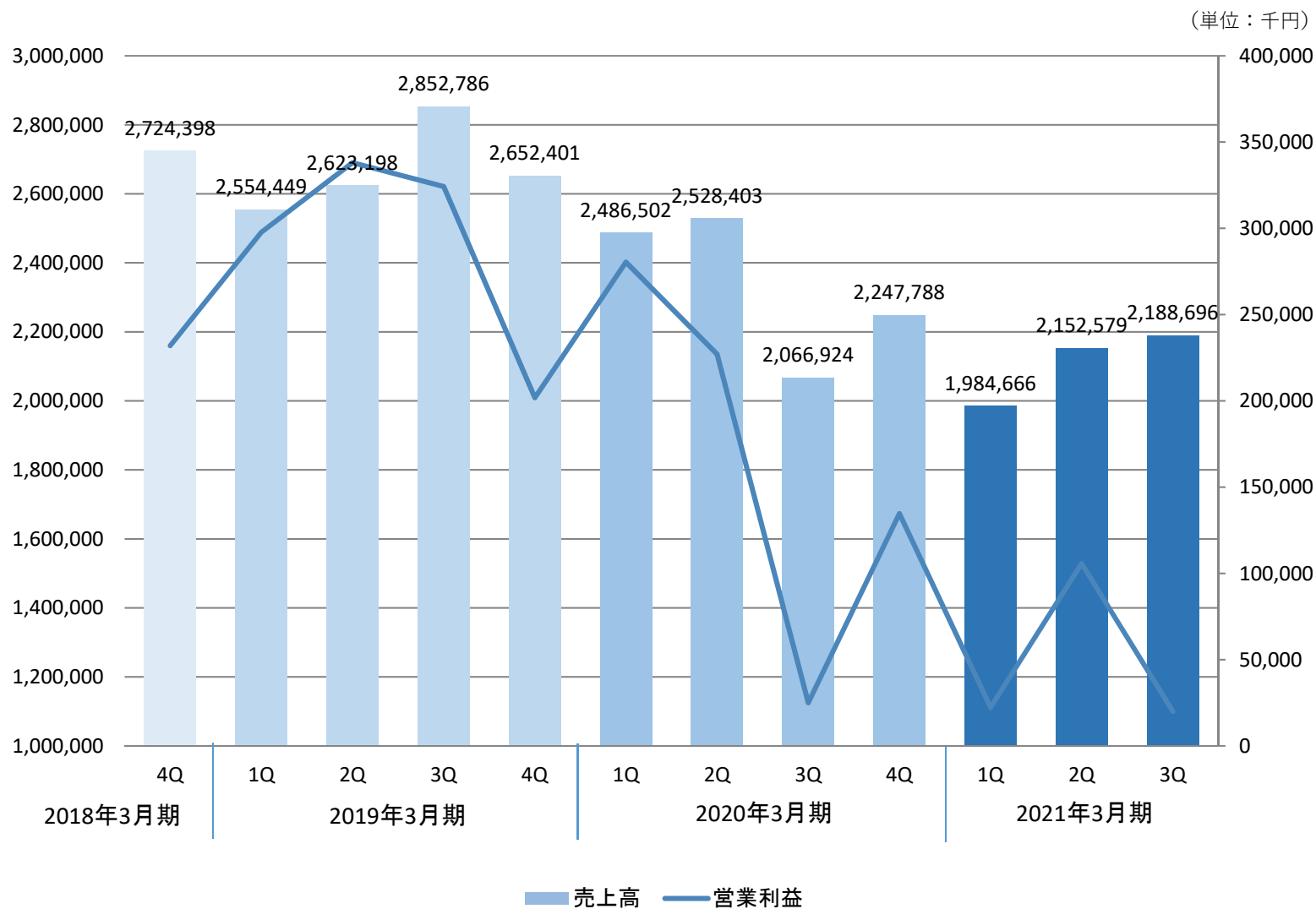
1. 中長期的な戦略について
- 2. 2021年3月期(第3Q)業績概要**
3. 2021年3月期業績予想
4. 事業トピックス

経営成績の概要

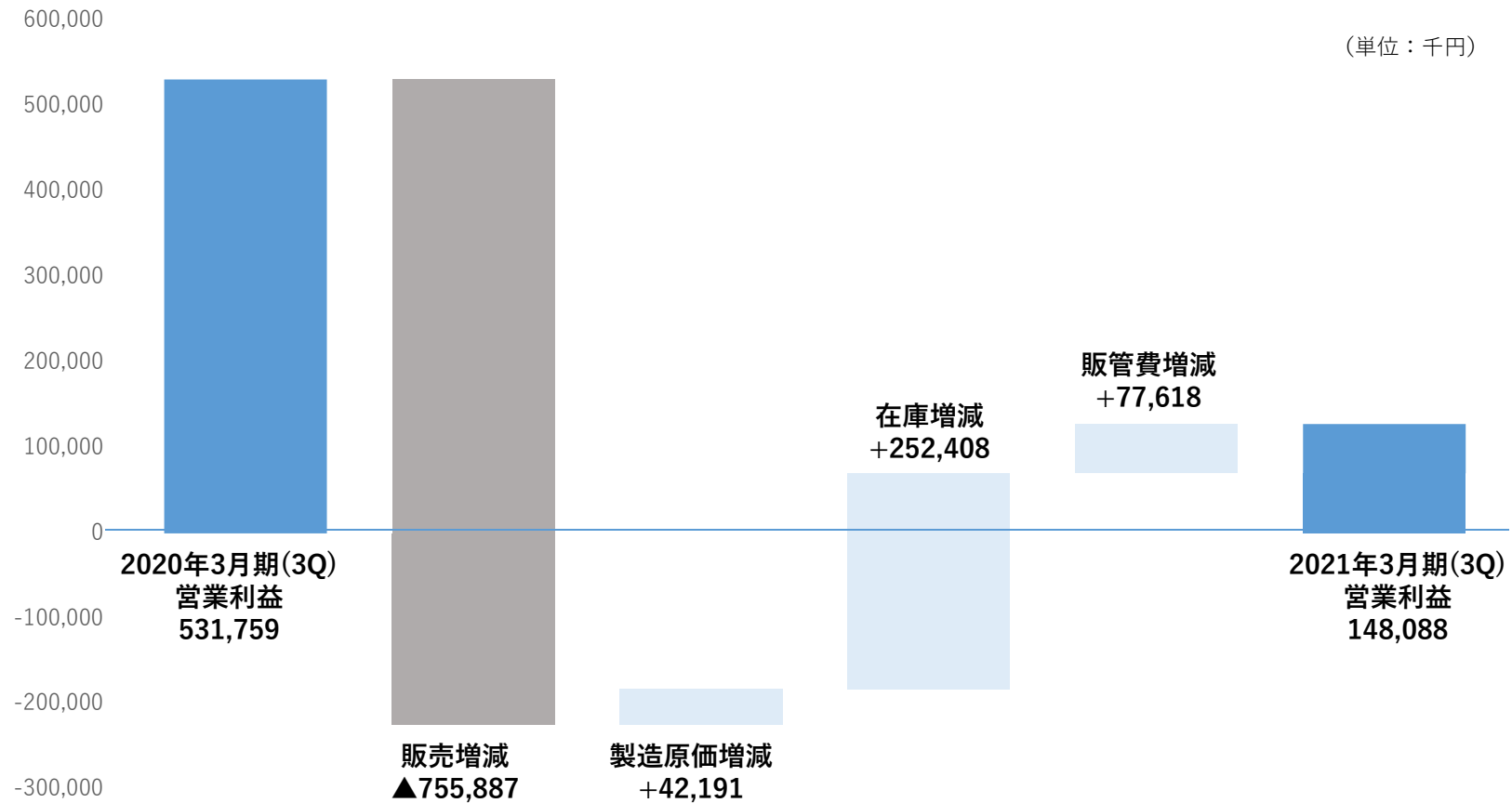
(単位：千円)	2020年3月期3Q		2021年3月期3Q		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	7,081,830		6,325,942		-755,887	-10.7%	8,500,000	74.4%
売上原価	5,495,201	77.6%	5,200,602	82.2%	-294,599	-5.4%	7,050,000	73.8%
販売費及び一般管理費	1,054,869	14.9%	977,251	15.4%	-77,618	-7.4%	1,250,000	78.2%
営業利益	531,759	7.5%	148,088	2.3%	-383,670	-72.2%	200,000	74.0%
経常利益	597,021	8.4%	210,531	3.3%	-386,489	-64.7%	270,000	78.0%
当期純利益	400,404	5.7%	142,202	2.2%	-258,201	-64.5%	170,000	83.6%
研究開発費	163,931	2.3%	163,902	2.6%	-29	0.0%	-	-
EPS(円)	33.55	-	11.91	-	-21.64	-	-	-
ROA (%)	3.5	-	1.2	-	-2.3	-	-	-
ROE (%)	4.9	-	1.7	-	-3.2	-	-	-

※ROA・ROEの数値は第3四半期の実績数値を通期換算して計算しております。
2021年3月期通期予算を修正いたしております。詳しくは2021年2月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

売上高・営業利益推移(四半期毎)



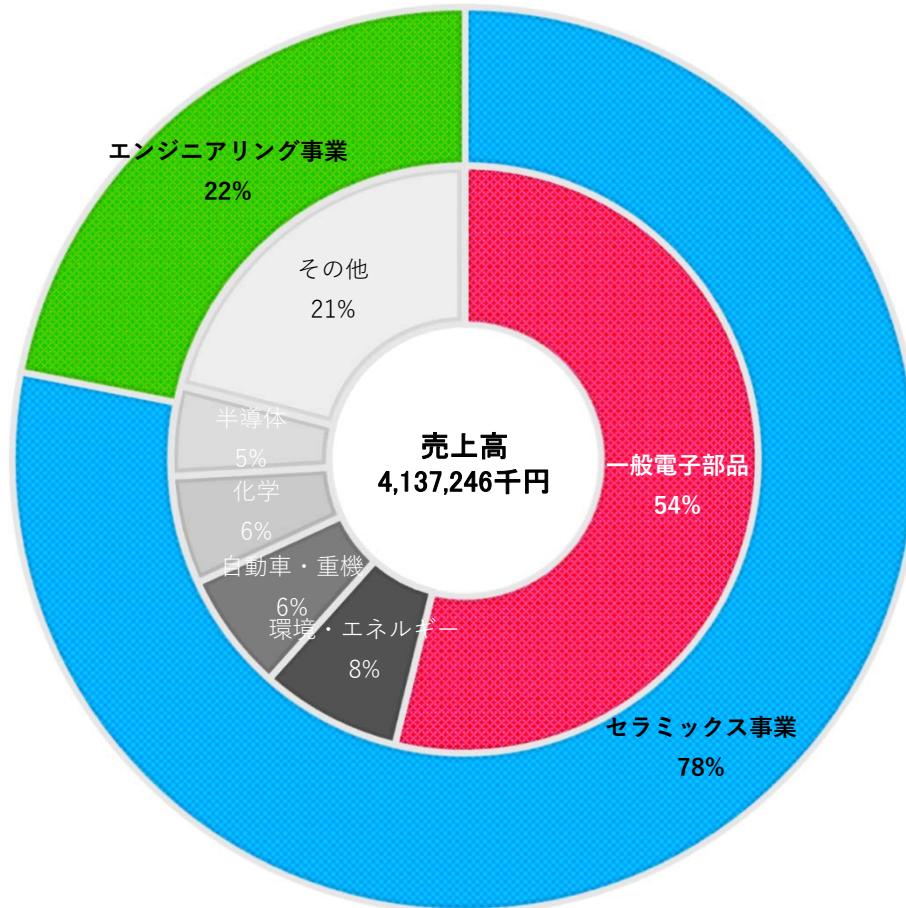
営業利益増減要因



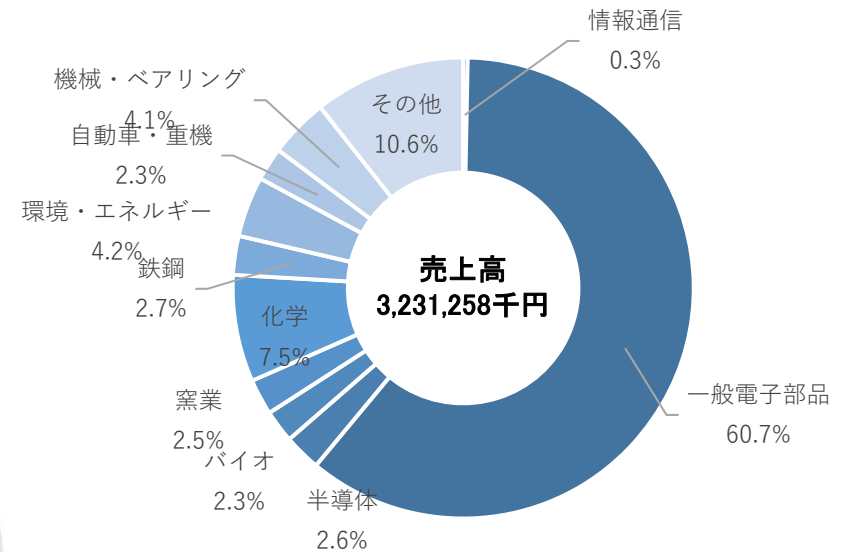
- ✓ 固定費削減につとめるものの新棟竣工に伴い経費が増加。新棟での生産開始に向け在庫積み増しを行うも、前年同期比72.2%減益となる。

マーケット別構成比

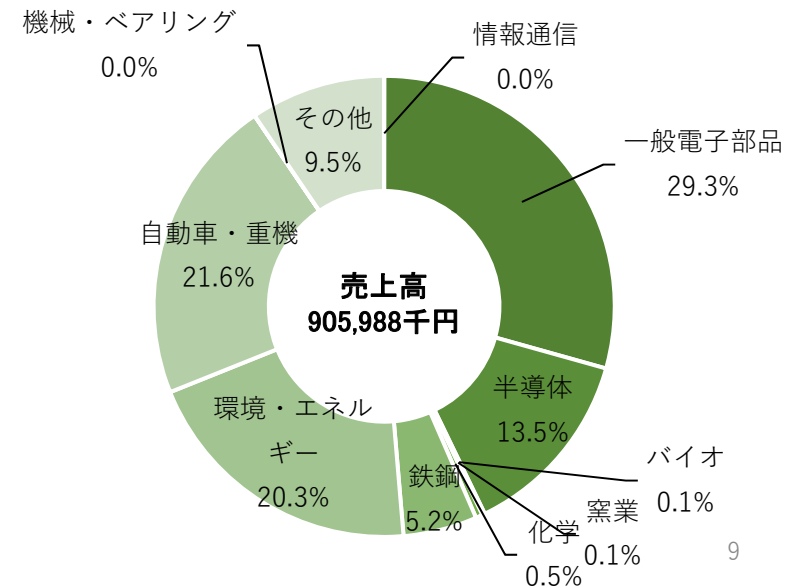
全社



セラミックス事業



エンジニアリング事業

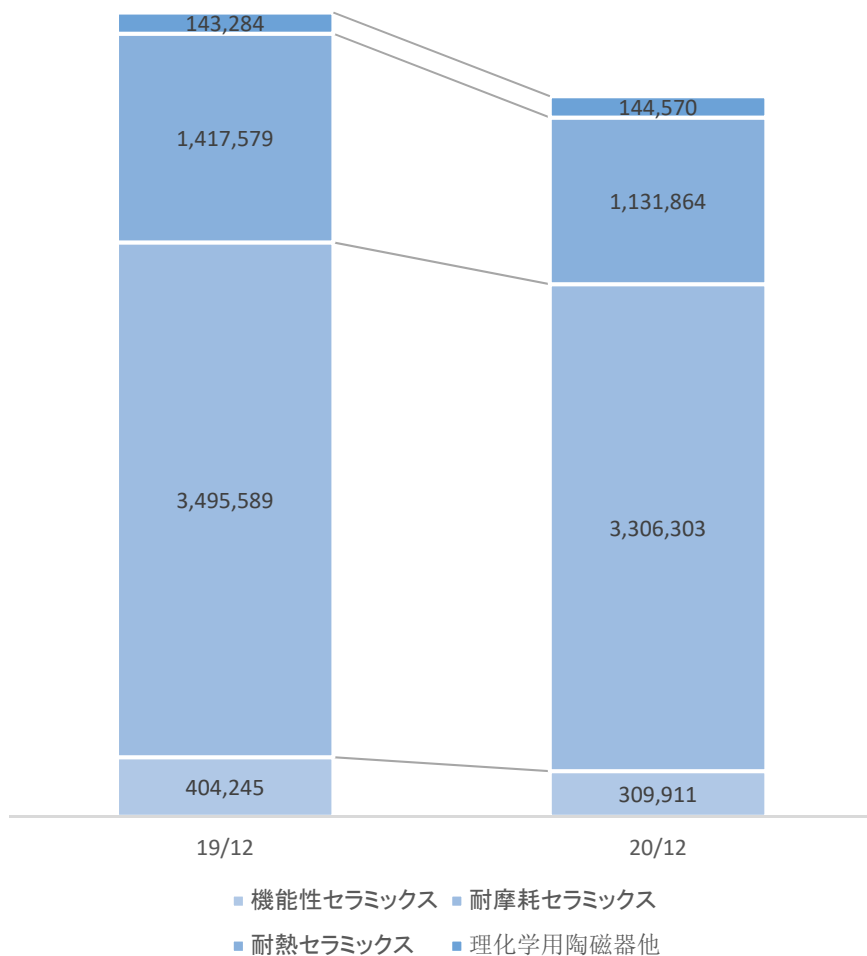


※マーケット別構成比は2021年3月期（第2Q）のデータを使用いたしております。

セグメント別業績推移

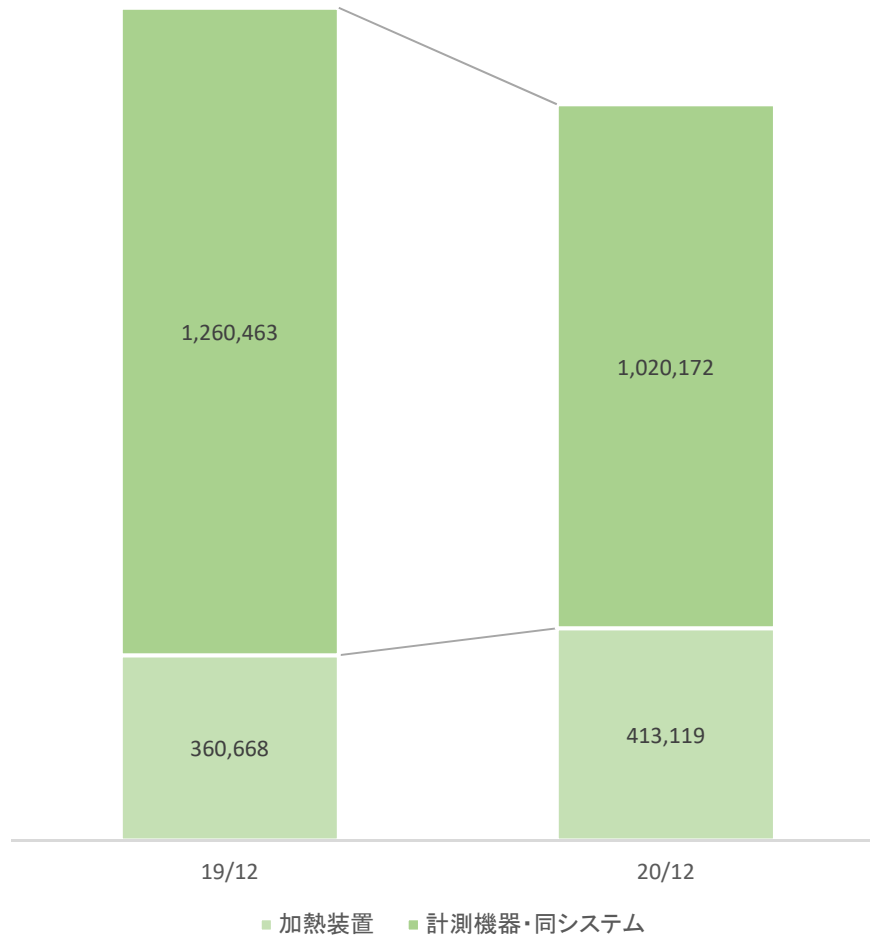


(単位：千円)



- ・新型コロナウイルスの影響で営業・生産活動に制限。経済活動は徐々に回復傾向にあったが第3波の流行で不透明感が強まる。
- ・YTZボール新棟建設は、10月竣工。現在、既存設備の移設及び新設備でのテスト生産実施中。
- ・従業員の健康・安全に配慮しながらも工場稼働率・生産効率改善に注力。

(単位：千円)



- ・セラミックス事業同様に新型コロナウイルスの影響により営業活動に制限。
- ・北関東営業所閉所及び組織体制の刷新により固定費削減には一定の効果が見られる。更なる効率化・利益率の改善に注力。
- ・計測機器は苦戦するも加熱装置はセグメント黒字化に貢献する。

貸借対照表

(単位：千円)	20/3末	20/12末	増減率
流動資産	8,338,649	8,243,809	△ 1.1%
現金預金	2,410,596	2,454,227	1.8%
売掛債権	3,079,940	2,849,106	△ 7.5%
棚卸資産	2,765,545	2,876,229	4.0%
その他	82,567	64,246	△ 22.2%
固定資産	6,882,191	7,232,420	5.1%
有形固定資産	5,032,631	5,334,195	6.0%
無形固定資産	146,842	136,096	△ 7.3%
投資その他	1,702,717	1,762,128	3.5%
資産合計	15,220,841	15,476,230	1.7%

- ・ 流動資産
 - 売掛債権 回収及び売上減少により減少
- ・ 固定資産
 - 有形固定資産 新棟及び関連設備の取得により増加
 - 投資その他 株価上昇による評価増により増加

	20/3末	20/12末	増減率
流動負債	2,888,260	3,013,816	4.3%
買掛債務	1,385,790	1,531,500	10.5%
短期借入金	620,892	648,392	4.4%
その他	881,577	833,924	△ 5.4%
固定負債	1,467,415	1,399,076	△ 4.7%
長期借入金	1,178,412	1,066,618	△ 9.5%
その他	289,003	332,458	15.0%
純資産	10,865,165	11,063,336	1.8%
株主資本	10,634,770	10,609,786	△ 0.2%
評価・差額等	230,394	453,550	96.9%
負債・純資産合計	15,220,841	15,476,230	1.7%

- ・ 流動負債
 - 買掛債務 新棟への設備移設関連の仕入が増加
- ・ 固定負債
 - 長期借入金 一年以内返済予定の長期借入金への振替により減少
- ・ 純資産
 - 評価・差額等 株価上昇による評価差額等の増化により増加

キャッシュフロー計算書

(単位：千円)	19/9末	20/9末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	572,556	703,011	130,455
税引前当期純利益	551,330	195,104	△ 356,225
減価償却費	299,974	324,612	24,637
棚卸資産の増減額	△ 279,950	△ 10,191	269,759
その他	1,200	193,485	192,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 995,541	△ 217,377	778,163
有形固定資産の取得	△ 967,411	△ 358,128	609,283
その他	△ 28,129	140,750	168,879
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 165,450	△ 154,057	11,392
配当金の支払額	△ 131,410	△ 131,091	318
その他	△ 34,039	△ 22,966	11,073
現金等の増減額	△ 588,435	331,575	920,010
現金等の期末残高	2,038,802	2,742,172	703,369

- ・ 営業 C F
 - 税引前当期純利益
 - 減収による影響で大幅減益
 - 棚卸資産の増減額
 - 原価率上昇に伴う在庫評価増
 - その他
 - 雇用調整助成金等により増加
- ・ 投資 C F
 - 有形固定資産の取得
 - セラミックス事業新規及び更新設備投資
 - その他
 - 投資有価証券の償還
- ・ 財務 C F
 - 配当金の支払額
 - 配当金 11円

※キャッシュフロー計算書は2021年3月期（第2Q）のデータを使用しております。

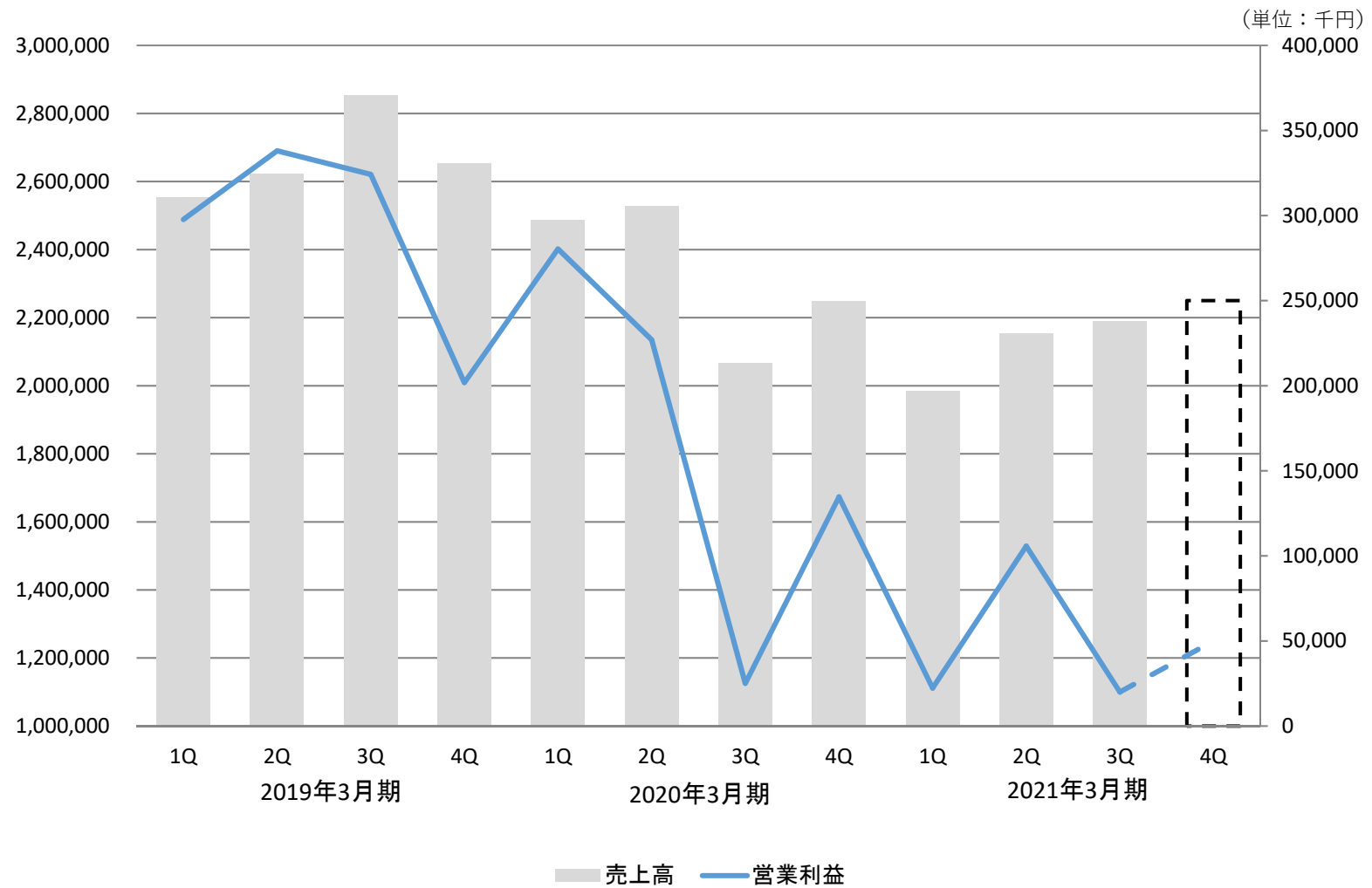
1. 中長期的な戦略について
2. 2021年3月期(第3Q)業績概要
- 3. 2021年3月期業績予想**
4. 事業トピックス

2021年3月期業績予想(1)

(単位：千円)	2021年3月期3Q(予測)		2021年3月期3Q(実績)		対予測比	2021年3月期(予測)		対通期比
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比	進捗率
売上高	6,250,000		6,325,942		101.2%	8,500,000		74.4%
売上原価	5,175,000	82.8%	5,200,602	82.2%	100.5%	7,050,000	82.9%	73.8%
販売費及び一般管理費	925,000	14.8%	977,251	15.4%	105.6%	1,250,000	14.7%	78.2%
営業利益	150,000	2.4%	148,088	2.3%	98.7%	200,000	2.4%	74.0%
経常利益	185,000	3.0%	210,531	3.3%	113.8%	270,000	3.2%	78.0%
当期純利益	120,000	1.9%	142,202	2.2%	118.5%	170,000	2.0%	83.6%

※2021年3月期通期予算を修正いたしております。詳しくは2021年2月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2021年3月期業績予想(2)



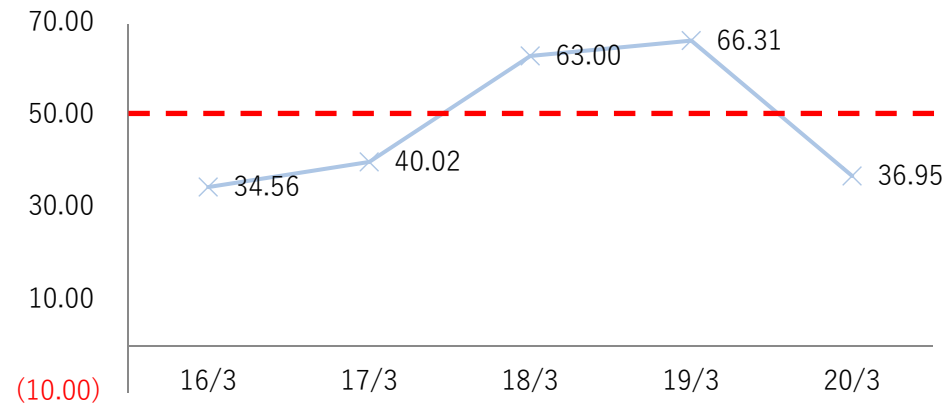
目標とする経営指標(1)

- ✓ ROE(自己資本当期純利益率)
→8%以上
- ✓ EPS(1株当たり当期純利益)
→50円以上
- ✓ 配当性向
→30%~50%

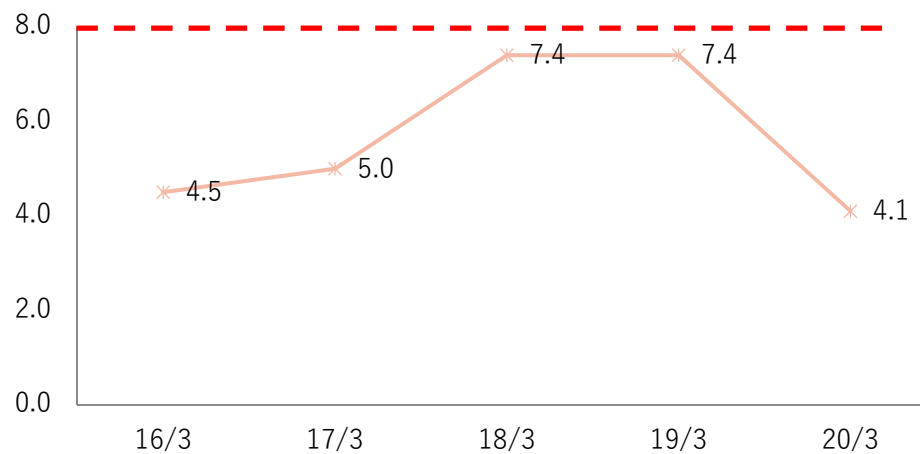
目標とする経営指標(2)

(過年度実績)

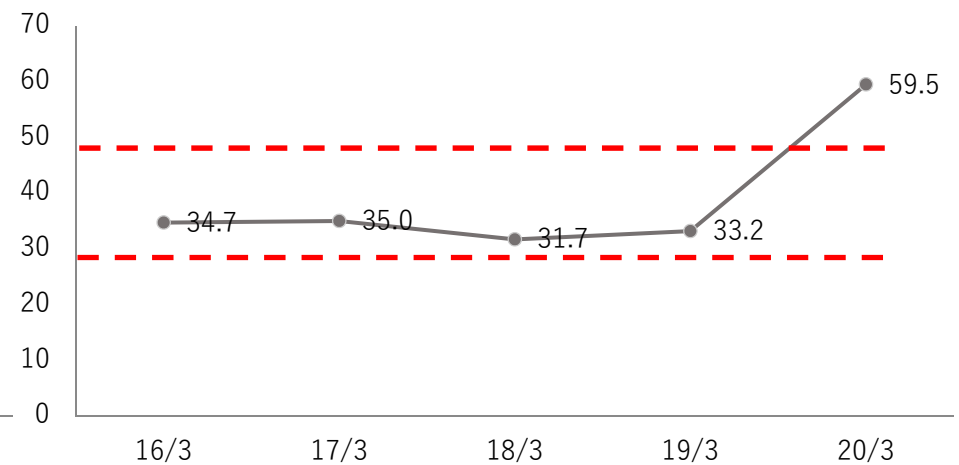
EPS(円)



ROE (%)



配当性向(%)



1. 中長期的な戦略について
2. 2021年3月期(第3Q)業績概要
3. 2021年3月期業績予想
4. 事業トピックス

【新型コロナウイルス感染症対策等の取組について】



上半期は新型コロナウイルス感染拡大により、大阪・東京などの主要都市に拠点を置く当社におきましても休業や変則勤務を余儀なくされ、ステークホルダーの皆様には大変ご迷惑をおかけすることになりましたことを深くお詫び申し上げます。

新型コロナウイルスは、「第2波」到来に加えインフルエンザウイルスとの同時流行など更なる感染拡大が懸念されておりますが、当社でもこれらの感染症拡大防止への取組としてあらゆる対策を講じております。

まず、入門者の体温管理やマスク着用に加え、時差出勤の導入や通勤手段変更の推奨、事務所では仕切り板を設置しソーシャルディスタンスの確保に努めております。また、日々の活動においてはWEBシステムを導入し新卒採用対象者への会社説明会や社内ミーティング、営業部門ではお取引様との打ち合わせに活用し、新たな仕事様式へ変革を行っております。

また、ゲリラ豪雨等の対策として水のう型浸水防止システムを導入し、自然災害にも備えBCPの取り組み強化を実施しております。



(注) 本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。